

東北大学東北アジア研究センター基礎研究部門教員（地域研究）（テニュアトラック准教授又は講師）公募のお知らせ

本センターでは、下記の要領で教員を公募します。

1. 【公募分野】

東北アジア研究センター 基礎研究部門

2. 【職名】

テニュアトラック准教授または講師 1 名

3. 【専門分野】

モンゴル・中央アジアあるいは中国をフィールドとした地域研究。現代史、文化人類学、政治経済学、社会学等を専門とし、センターにおける文理融合の共同研究に積極的に資することが可能な専門分野。

4. 【勤務内容】

- (1) 専門分野に関わる個別および共同研究
- (2) 全学教育：専門分野に応じて可能な科目を担当
- (3) 大学院：専門分野に応じて可能な科目を担当

5. 【応募資格】

- (1) 博士の学位を持ち（2023年3月取得見込みを含む）、専門分野において卓越した業績を有すること。
- (2) センターの文系および理系分野との共同研究に前向きである者。
- (3) センターが進めるデジタルアーカイブ事業に積極的に関わることができる者。
- (4) 国籍を問わない。
- (5) 日本語・英語による研究教育能力と事務処理能力を有すること。

6. 【採用予定日】

2023年4月1日以降のできるだけ早い時期

7. 【応募締切日】

2022年12月2日必着

8. 【提出書類】

- (1) 履歴書（写真貼付）※別紙様式(excel ファイル)を使用すること

- (2) 研究業績リスト（学術雑誌論文、学術図書掲載論文、著書、書評・解説記事、招待講演・学会発表、受賞などに分類すること。業績については査読の有無について記載すること。）
- (3) 主要業績 5 点（別刷・コピー可、各一部）。それぞれ 400 字程度の日本語要旨を付けること。
- (4) 今までの研究について、上記 5 点に触れつつ概要を書くこと（2000 字程度）
- (5) 着任後の研究・教育に関する抱負（1000 字程度）
- (6) フィールドワーク調査の経験、国内および国際共同研究の企画・参加状況、海外の研究者・研究機関との交流状況等がわかるデータ一覧（該当する項目についてのみ記載すること）
- (7) 現在までに取得した科学研究費補助金・民間財団等の各種外部資金のデータ一覧
- (8) これまでの担当授業科目等の一覧
- (9) 所属機関や所属学会での各種委員会や運営面では足した役割
- (10) 照会可能な方 2 名の氏名と連絡先(e-mail アドレスを含む)

9. 【書類提出先】

電子メールによる提出とします。上記の（1）はエクセルファイルのまま（履歴書様式によりこの部分の記載の変更あり）、（2）から（6）はそれぞれ別々の PDF ファイルにしてください。（3）の別刷りは論文毎に PDF にしてください。ファイル名は提出書類の種類番号（上記（1）から（6））+ご自分の名前のローマ字を付けてください。例えば、東北花子という名前の方の場合、履歴書は「01_tohokuhanako」、（3）の論文（1/4）については「03a_tohokuhanako」としてください。

送付先メールアドレス：kyouinkoubo.cneas_2@grp.tohoku.ac.jp

※送付後 2 業務日以内に受領メールが届かない場合、後述の問合せ先メールアドレスにご連絡願います。

10. 【問い合わせ】

TEL：022-795-6009（東北アジア研究センター事務室）

E-mail：kyouinkoubo.cneas_2@grp.tohoku.ac.jp

（できるだけ E-mail での問い合わせをお願いします。）

11. 【その他】

・選考は書類審査をふまえて、英語を用いた面接（リモートの場合もある）を実施することがあります。

・テニュアトラック准教授又は講師（任期 4 年）として採用された場合は、任期満了の

1年前までにテニユア審査を実施し、適格と認められた場合は准教授又は講師（任期なし）として採用します。適格と認められなかった場合は、テニユアトラック期間満了をもって退職となります。

•東北大学は多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion : DEI)を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ: <http://tumug.tohoku.ac.jp/dei/>

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要なとされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）、青葉山みどり保育園（定員 116 名）および、星陵地区の方が利用できる星の子保育園（定員 120 名）の、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学内病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。⇒

・男女共同参画推進センターWEB ページ: <http://www.tumug.tohoku.ac.jp>

・人事企画部 WEB ページ: <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>

・本センターに関する詳細はホームページをご覧ください。